

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【公開番号】特開2012-176839(P2012-176839A)

【公開日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-037

【出願番号】特願2011-41506(P2011-41506)

【国際特許分類】

*B 6 5 H 1/02 (2006.01)*

【F I】

*B 6 5 H 1/02 A*

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月24日(2014.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筐体と、

回動軸を支点として回動することにより、記録媒体を給送ローラーに当接させるホッパーと、

前記ホッパーの上流側で、前記ホッパーと協働して前記記録媒体を傾斜して載置する記録媒体支持板と、

前記傾斜した前記記録媒体支持板を前記筐体に立設された状態で案内する案内溝と、を備え、

前記回動軸方向から見た前記ホッパーの外形と、前記回動軸方向から

見た前記記録媒体支持板の移動領域と、が重なり、かつ、前記ホッパーの上流側の端部は、前記移動領域と重ならないことを特徴とする給送装置。

【請求項2】

請求項1に記載の給送装置であって、

前記記録媒体支持板には、前記記録媒体の載置面と直交する方向に突起し、前記記録媒体の幅方向を規制する幅方向規制部が備えられ、前記ホッパーの上流側には、

前記幅方向における前記幅方向規制部の位置に切り欠き部が形成されていることを特徴とする給送装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の給送装置と、

前記記録媒体に文字や画像を記録する記録部と、を備えた記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[適用例1] 筐体と、回動軸を支点として回動することにより、記録媒体を給送ローラーに当接させるホッパーと、前記ホッパーの上流側で、前記ホッパーと協働して前記記録媒体を傾斜して載置する記録媒体支持板と、前記傾斜した前記記録媒体支持板を、前記筐体に立設された状態で案内する案内溝と、を備え、回動軸方向から見た前記ホッパーの外形と、前記回動軸方向から見た前記記録媒体支持板の移動領域とが重なり、かつ、前記ホッパーの上流側の端部は、前記移動領域と重ならないことを特徴とする給送装置。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本適用例によれば、回動軸方向から見たホッパーの外形と、回動軸方向から見た記録媒体支持板の移動領域とが重なり、かつ、ホッパーの上流側の端部は、移動領域と重ならない。これにより、記録媒体支持板を立設させた状態で支持する案内溝の位置をより給送ローラー側に設定できる。そのため、給送装置が大型化することを抑制できる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

[適用例2] 前記記録媒体支持板には、前記記録媒体の載置面と直交する方向に突起し、複数の前記記録媒体の幅方向を規制する幅方向規制部が備えられ、前記ホッパーの上流側には、前記幅方向における前記幅方向規制部の位置に切り欠き部が形成されていることを特徴とする上記給送装置。